

原子力発電所事故に関連した食の安全・安心確保に向けた道の主な取組

道産農林水産物等の安全・安心の確保

平成23年8月8日現在

○道内における放射性物質の監視強化 (総務部、保健福祉部、環境生活部、農政部、水産林務部)

<モニタリング調査の実施>

- ・大気 札幌〔道立衛生研究所〕(毎日実施)、利尻〔環境省〕(毎日実施)
泊発電所周辺地域〔22ヶ所〕(毎日実施)
総合振興局・振興局所在地〔13ヶ所〕(3/23～毎日実施)
- ・降下物(ちり等) 札幌(3/18～毎日実施)
- ・水道水 札幌(3/18～毎日実施)、道内4地点(4/24～当面毎月1回実施)
- ・海水 本道太平洋沿海域3定点、20km沖合〔4/11～当面隔週実施〕
- ・水産物 太平洋沖合海域(4/15～当面適宜実施)
- ・農地土壌 全道7か所(農業試験場)、(4/18～10月まで毎月1回実施)

○放射性物質が検出された稲わらを給与した牛肉の道内流通への対応 (保健福祉部)

- ・放射性物質が検出された稲わらを給与した牛の肉などの道内流通が判明した場合には流通状況調査を実施
- ・「健康相談窓口」を設置(7/13～)
- ・「福島県産牛肉の放射性物質モニタリング検査」を実施(7/15～)

○福島県からの家畜の移入への対応(農政部)

- ・福島県からの家畜の移入に当たって、移出元及び着地検査場所での家畜の洗浄の徹底を要請(4/12)
- ・計画的避難区域等から移動する家畜の受入れ等に当たっての留意事項や、移動家畜が道内でと畜する場合は当該家畜由来の食肉をモニタリング検査の対象とすることなどについて、総合振興局・振興局、関係団体等に通知(5/20/31)
- ・当面の間、計画的避難区域等から受入れた牛の出荷と移動の自粛について、総合振興局・振興局、関係団体等に通知(7/15)

○道内における稲わら利用の実態調査等(農政部)

- ・「稲わら」の利用に係る実態調査を実施(7/18～8/1)
- ・道産「稲わら」の放射性物質サンプル調査(主要飼育産地4カ所)を実施(7/18～7/26)
- ・「稲わら」利用状況確認書の交付(7/29～)

消費者等への正しい情報の提供

○ホームページ等による情報発信(総務部、環境生活部、保健福祉部、水産林務部、農政部ほか)

- ・「北海道食の安全・安心ポータルサイト」など道のホームページを活用し、道内の放射性物質モニタリング調査の結果や国による出荷制限等の対応などについて情報を発信(3/11～、随時充実)
【ポータルサイト】<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/anzensinsaito.htm>
- ・メールマガジン「食の安全・安心インフォメーション～北海道スローフード&フェアトレード」の発行により情報を発信(4/8～、随時)

○道民を対象としたセミナーの開催(農政部)

- ・「食の安全・安心セミナー～放射性物質等をめぐって～」を開催
(講師:北海道立衛生研究所 研究職員 神和夫氏ほか 4/27開催、8/8予定)

その他

○円滑な輸出に向けた対応(経済部・農政部・水産林務部)

1. 通関への対応
一部の国・地域に輸出される食品等について、農林水産省からの依頼に基づき、証明書(農水産物は産地、加工食品は最終加工地)の発行に対応
<農産物・加工食品>
EU、欧州自由貿易連合(EFTA)加盟国、シンガポール、韓国、マレーシアなど 11カ国
<水産物・水産加工品> 韓国(6/1～)、中国(7/7～)
2. 国外向けPR
・日本語の他、英語など5カ国語によるモニタリング調査結果の公表
・在札幌外国領事館等に対する訪問・PR(4月15日～19日、6カ所)
・知事によるトップセールス(5月23日上海、24日北京)

北海道における放射線の環境モニタリング状況

平成23年7月31日時点

1 道内における空間線量の推移 [観測データは、札幌3/14～、その他局は3/23～]

[札幌での平常値は、0.020～0.105 μ Sv/h(1 μ Sv=0.001mSv)]

(単位: μ Gy/h)

場所	3月	4月	5月	6月	7月
札幌市	0.027～0.041	0.028～0.045	0.028～0.041	0.028～0.043	0.028～0.042
岩見沢市	0.032～0.048	0.040～0.056	0.040～0.062	0.038～0.060	0.040～0.068
倶知安町	0.036～0.042	0.036～0.056	0.040～0.056	0.040～0.052	0.040～0.060
室蘭市	0.032～0.040	0.028～0.058	0.028～0.056	0.026～0.048	0.022～0.056
浦河町	0.040～0.052	0.040～0.060	0.038～0.070	0.042～0.056	0.040～0.062
函館市	0.026～0.038	0.024～0.050	0.024～0.040	0.028～0.036	0.026～0.060
江差町	0.038～0.072	0.034～0.060	0.036～0.054	0.038～0.054	0.038～0.060
旭川市	0.044～0.060	0.042～0.078	0.034～0.064	0.042～0.068	0.040～0.064
留萌市	0.032～0.050	0.036～0.060	0.040～0.054	0.040～0.058	0.042～0.058
稚内市	0.044～0.052	0.042～0.064	0.042～0.066	0.044～0.066	0.040～0.054
網走市	0.030～0.040	0.028～0.060	0.032～0.052	0.034～0.050	0.034～0.056
帯広市	0.036～0.044	0.034～0.048	0.032～0.052	0.030～0.058	0.032～0.056
釧路市	0.026～0.040	0.030～0.040	0.030～0.042	0.030～0.042	0.030～0.040
根室市	0.032～0.040	0.028～0.046	0.028～0.052	0.026～0.050	0.030～0.044

※ アンダーラインは、道内(14地点)における最小値と最大値

※ Sv(シーベルト)とは、Gy(グレイ)に人体への影響を考慮した荷重係数を乗じたエネルギー量。

(緊急時の場合は、GyをSvと同じと考えて差し支えないとしている。)

2 札幌における降下物の放射線量[平常値は不検出]

(単位: MBq/km²)

		3月	4月	5月	6月
降下物 (ちり・雨等)	ヨウ素131	0.41	5.7	0.58	不検出
	セシウム137	不検出	5.7	2.3	0.35
	セシウム134	不検出	6.0	2.4	0.39

※ 受水面積5.024cm²の大型水盤で1ヶ月毎に採取したものの分析値

3 農地土壌における放射線量

[過去3年(H19～21年)の札幌市・江別市における調査では、ヨウ素131は不検出、セシウム137は14～19Bq/kg]

(単位: Bq/kg乾土)

		4/18	5/16	6/13	7/11
長沼町	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	4.5	不検出	4.2	不検出
北斗市	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	9.4	10.3	12.4	11.0
比布町	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	5.9	不検出	不検出	不検出
浜頓別町	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	9.9	10.2	12.3	11.6
芽室町	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	6.9	7.7	10.7	不検出
訓子府町	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	8.0	不検出	5.1	5.6
中標津町	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	8.8	8.9	8.9	11.7

4 水道水の分析値

(単位: Bq/kg)

		4/24	5/24	6/28	7/27
函館市	放射性ヨウ素	不検出	不検出	不検出	不検出
	放射性セシウム	不検出	不検出	不検出	不検出
稚内市	放射性ヨウ素	不検出	不検出	不検出	不検出
	放射性セシウム	不検出	不検出	不検出	不検出
帯広市	放射性ヨウ素	不検出	不検出	不検出	不検出
	放射性セシウム	不検出	不検出	不検出	不検出
根室市	放射性ヨウ素	不検出	不検出	不検出	不検出
	放射性セシウム	不検出	不検出	不検出	不検出
札幌市	放射性ヨウ素	不検出	不検出	不検出	不検出
	放射性セシウム	不検出	不検出	不検出	不検出

5 北海道における海水内の放射性物質モニタリング調査値

■法令に定める水中の濃度限度

ヨウ素131	セシウム134	セシウム137
40Bq/L	60Bq/L	90Bq/L

〈過去(H19～H21)の海水中の放射性物質モニタリングの結果〉

	ヨウ素131	セシウム137
環境放射能水準調査結果(文科省)	不検出	0.0019～0.0022 Bq/L
泊発電所周辺環境放射線監視結果	不検出	不検出～0.0029 Bq/L

注) *は欠測

(単位:Bq/L)

採取日		室蘭沖			えりも沖			釧路沖			採取日
		ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	ヨウ素131	セシウム134	セシウム137	
4/11	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	4/11えりも沖、釧路沖、4/12室蘭沖
4/12	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
4/25	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	4/25えりも沖、4/26室蘭沖、釧路沖
4/26	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
5/9～	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	5/9室蘭沖、5/10釧路沖、5/11えりも沖
5/11	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
5/24	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	5/24えりも沖、釧路沖、5/25室蘭沖
5/25	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
6/6	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	6/6えりも沖、釧路沖、6/7室蘭沖
6/7	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	
6/20	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	6/20室蘭沖、釧路沖、6/21えりも沖
6/21	低層	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
7/4	表層	不検出	不検出	不検出	*	*	*	不検出	不検出	不検出	えりも沖は時化で欠測
	低層	不検出	不検出	不検出	*	*	*	*	*	*	
7/19	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	7/19えりも沖、釧路沖、7/20室蘭沖
7/20	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	*	*	*	
7/31	表層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	7/31室蘭沖、えりも沖、8/1釧路沖
8/1	低層	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	

北海道における水産物の放射性モニタリング調査結果

■食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質の暫定規制値

	ヨウ素	セシウム
魚介類	2,000Bq/kg	500Bq/kg
肉(クジラ)	—	500Bq/kg

(単位:Bq/kg)

採取日	魚種	水揚海域 (漁業種類)	ヨウ素 (I-131)	セシウム (Cs-134)	セシウム (Cs-137)
4月15日	シロサケ	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	不検出	0.45
4月22日	カラフトマス	北海道太平洋沖合 (小型さけます流し網漁業)	不検出	4.39	4.91
5月12日	イカナゴ(コウナゴ)	島牧村沖	不検出	不検出	不検出
5月19日	シロサケ	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	1.64	2.31
5月19日	カラフトマス	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	33.44	43.24
5月25日	ツチクジラ	日本海松前沖 ※水産庁が検査を実施	不検出	不検出	不検出
5月28日	シロサケ	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	3.43	3.95
5月28日	カラフトマス	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	2.53	4.01
5月10/16日	マツカワ	北海道太平洋沖合 (カレイ刺し網) ※水試で研究用保管品使用	不検出	不検出	不検出
6月18日	カラフトマス	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	1.85	2.75
6月19日	シロサケ	北海道・東北太平洋沖 (小型さけます流し網漁業)	不検出	0.64	1.05
6月30日	サンマ	北海道太平洋沖合 (さんま漁業)	不検出	5.95	6.07
7月20日	カキ	厚岸町沖 (かき養殖漁業)	不検出	不検出	不検出
7月21日	サンマ	北海道太平洋沖合 (さんま漁業)	不検出	2.53	3.76
7月22日	スルメイカ	浦河町沖 (イカ釣漁業)	不検出	不検出	不検出

福島県産牛肉のモニタリング検査の実施状況

平成23年8月1日現在

道内の食肉処理業、食肉販売業及び飲食店営業に福島県産牛肉の取扱いの有無について聞き取り調査を行い、該当する牛肉について検査を実施。

(単位：件)

聞き取り調査実施施設数			検査実施状況		
食肉処理業	食肉販売業	飲食店営業	検査検体数	暫定規制値 以下	暫定規制値 超過
474	4,053	445	6	6	0

道産「稲わら」の放射性物質サンプリング調査の結果

道内4カ所で採取した道産「稲わら」の放射性物質サンプリング調査の結果、全ての検体について放射性物質は不検出でした。

採取地域 (肥育農家)	「稲わら」 の産地	検査月日	検査結果	
			放射性ヨウ素	放射性セシウム
渡島	渡島	7月26日	不検出	不検出
上川	上川		不検出	不検出
十勝	オホーツク		不検出	不検出
オホーツク	オホーツク		不検出	不検出

※ 暫定許容値：放射性セシウム－300Bq/kg（換算値で比較）

放射性ヨウ素－許容値設定なし

北海道

みなさんのお知らせ

赤れんが

道庁からのお知らせです。毎月第一第三日曜日

東日本大震災関連情報

道では道内被災地の復旧・復興や道外被災地への支援とともに、震災により被害を受けている道内経済への対策に取り組んでいます。道民の皆さまのご理解、ご協力をお願いします。

道外被災者支援に関する総合相談窓口

▶道外被災地県緊急支援対策本部
受付時間 8:45～17:30 (土・日・祝を除く)
【☎0120-113-926 FAX 011-232-1140】

原子力に関連する情報

放射性物質が検出された稲わらを与えた牛肉について
すでに消費された可能性のある食肉などについては、いずれも健康への影響はありませんが、ご心配な方は、次の相談窓口までご連絡ください。

▶健康安全局 受付時間 8:45～17:30 (土・日・祝を除く)
【☎011-204-5261】
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kak/20110718beef.htm>

放射性物質モニタリング調査結果の公表
道民の生活および本道の農水産物に関する大気、水道水、農地土壌、海水や水産物(回遊魚等)などの情報をホームページで提供しています。
<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gat/tj/genshi.htm>



- 道民の皆様への情報提供
- 道外で被災された方々への支援に関する情報
- 原子力に関する情報

東日本大震災の情報サイト 【原子力に関する情報】

モニタリング情報

- 道内の放射線量率は平常レベルで推移しています【総務部原子力安全対策課】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線22-853)
 - 北海道における空間放射線量率モニタリング結果
 - Radiation Monitoring in Hokkaido
 - 環境省(環境放射線等モニタリングデータ)
 - 文部科学省(都道府県別環境放射能水準調査結果)
- 道産「稲わら」の放射性物質サンプリング調査の結果【農政部食の安全推進局畜産振興課】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線27-757)
- 福島県産牛肉の放射線物質モニタリング検査の実施状況【保健福祉部健康安全局】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線25-529)
- 道内観光地における空間放射線量率モニタリング結果【経済部観光局】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線26-563)
- 海水内の放射性物質モニタリング結果【水産林務部水産経営課】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線28-210)
- 水産物の放射性物質モニタリング結果【水産林務部水産経営課】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線28-210)
- 札幌市の空間放射線量率、蛇口水・降水物の測定結果【北海道立衛生研究所】
お問い合わせ先: 011-747-2719
- 水道水の放射性物質モニタリング結果【環境生活部環境局環境推進課】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線24-284)
- 海水浴場の放射性物質モニタリング結果【環境生活部環境局環境推進課】
お問い合わせ先: 011-204-5193(内線24-274)
- 農地の放射性物質モニタリング結果【農政部技術普及課】
お問い合わせ先: 011-231-4111(内線27-801)